

決算説明資料

2021年12月期第3四半期

(2021年11月10日決算発表)



昭和電工株式会社

代表取締役 常務執行役員 CFO

竹内 元浩

- ①第3四半期の売上高・営業利益(事業譲渡の影響を受けたアルミニウムセグメント除き)は、
第2四半期から159億円の増収、1億円の増益

- ②半導体関連製品は引き続き好調に推移した一方、原材料価格の高騰や
半導体供給不足による自動車生産台数減少が第3四半期の業績を下押し
これらの要素を第4四半期も懸念し、8月公表の通期業績予想は据え置き

- ③成長投資前倒しのための公募増資を実行し、同時に負債資本バランス改善

連結業績の概要（前四半期対比）

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	3,537	3,583	47
営業利益	268	244	△ 24
営業外損益	△ 16	△ 13	4
経常利益	251	231	△ 20
特別損益	△ 387	△ 80	307
税金等調整前四半期純利益	△ 135	151	286
法人税等	△ 15	△ 85	△ 70
四半期純利益	△ 150	66	217
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 36	△ 36	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 186	31	217
EBITDA (営業利益 + 減価償却費 + のれん等償却費)	563	529	△ 34
対売上EBITDA%	15.9%	14.8%	△ 1.1p

セグメント別売上高・営業利益まとめ（前四半期対比）

(億円)

		2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減	増減率
石油化学	売上高	695	744	50	7%
	営業利益	62	55	△ 7	△ 11%
化学品	売上高	454	489	35	8%
	営業利益	58	58	1	1%
エレクトロニクス	売上高	277	339	62	22%
	営業利益	38	43	5	14%
無機	売上高	252	258	6	2%
	営業利益	53	56	3	6%
アルミニウム	売上高	252	139	△ 113	△ 45%
	営業利益	33	8	△ 25	△ 75%
昭和電工マテリアルズ	売上高	1,606	1,614	8	1%
	営業利益	50	60	9	19%
その他	売上高	55	52	△ 2	△ 5%
	営業利益	△ 1	△ 1	△ 0	-
調整額	売上高	△ 53	△ 53	1	-
	営業利益	△ 25	△ 36	△ 10	-
合計	売上高	3,537	3,583	47	1%
	営業利益	268	244	△ 24	△ 9%

セグメント別売上高・営業利益(1) (前四半期対比)



石油化学

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	695	744	50
営業利益	62	55	△ 7

オレフィン：増収・増益(原料ナフサ価格上昇による製品市況上昇)
 有機：小幅増収・減益(原料高の価格転嫁タイムラグ)
 サンアロマー：売上高前四半期並み・減益(ナフサ価格上昇によるタイムラグ影響)

化学品

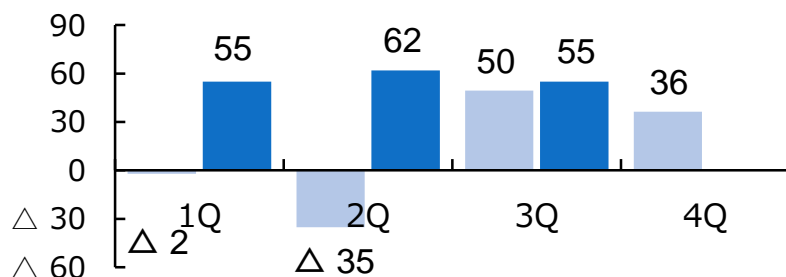
(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	454	489	35
営業利益	58	58	1

基礎化学品：増収・減益(数量増も原燃料高によるコスト増)
 情報電子化学品：増収・増益(需要旺盛で数量増)
 機能性化学品：小幅減収・減益(数量増も原材料高により値上げ実施もタイムラグ)
 産業ガス：増収・増益(季節性による数量増)
 コーティング材料：売上高前四半期並み・減益

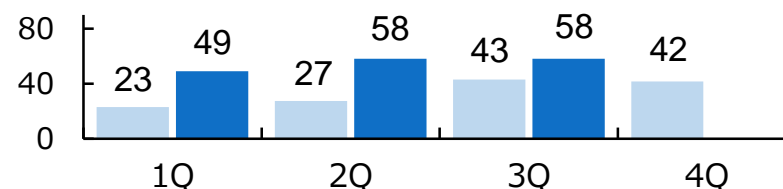
<営業利益四半期推移>

(億円)



<営業利益四半期推移>

(億円)



■ 2020年 ■ 2021年

セグメント別売上高・営業利益(2) (前四半期対比)

エレクトロニクス

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	277	339	62
営業利益	38	43	5

HD：増収・小幅減益（データセンター向けニアライン
堅調で数量増）
化合物半導体：増収・増益（数量増、コストダウン）
リチウムイオン電池材料：売上高前四半期並み・小
幅減益
SiCエピタキシャルウェハー：増収、増益（数量増）

無機

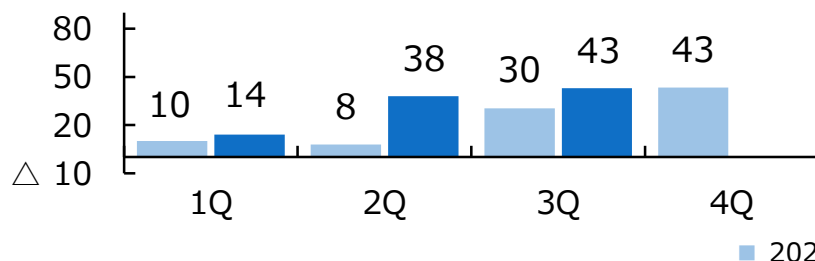
(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	252	258	6
営業利益	53	56	3

セラミックス：減収・増益
黒鉛電極：増収・営業利益前四半期並み（数量
増も主に20年棚卸資産簿価切下げ戻り益縮
小）

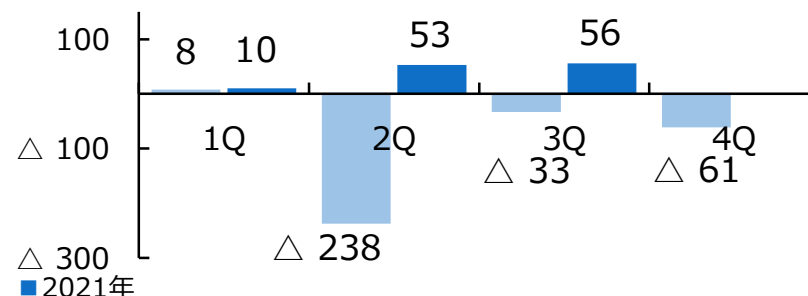
<営業利益四半期推移>

(億円)



<営業利益四半期推移>

(億円)



セグメント別売上高・営業利益(3) (前四半期対比)

アルミニウム

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	252	139	△ 113
営業利益	33	8	△ 25

機能部材：増収、減益（東南アジアCOVID-19影響等で自動車向け数量減、原材料高）
 圧延品、アルミ缶：事業譲渡により、売上高・損益は期中まで取り込み(圧延品：2021年第3四半期中、アルミ缶：2021年第2四半期)

昭和電工マテリアルズ

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	1,606	1,614	8
営業利益	50	60	9
営業利益※	136	142	6

情報通信：半導体需要は引き続き強く、増収増益
 モビリティ部材・蓄電デバイス：半導体供給不足による自動車生産台数の低迷が続く、売上高・営業利益ともに前四半期並み

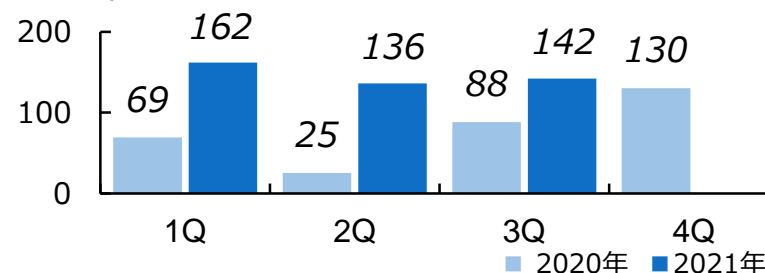
その他

(億円)

	2021年 4-6月	2021年 7-9月	増減
売上高	55	52	△ 2
営業利益	△ 1	△ 1	△ 0

<営業利益※四半期推移>

(億円)



※ 2020年1Q-2Q：旧日立化成の調整後営業利益(参考値)
 2020年3Q以降：昭和電工マテリアルズセグメントの営業利益から、連結化に伴うのれん等償却費、棚卸資産ステップアップ費用を除いた額

営業外損益、特別損益（前年同期対比）

営業外損益内訳

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減	増減要因
金融収支	△ 27	△ 62	△ 35	支払利息増加
持分法投資損益	5	47	43	2020年7月よりSDMC関連会社新規取込
為替差損益	△18	38	57	
資金調達費用	△ 161	—	161	
その他	△ 18	△ 10	8	
営業外損益 計	△ 219	14	233	

特別損益内訳

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減	増減要因
事業譲渡益	—	94	94	アルミ缶事業譲渡等
固定資産除売却損	△22	△25	△2	
事業構造改善費用	△57	△328	△271	蓄電デバイス事業譲渡に伴う減損損失等
その他	△18	△326	△308	アルミ圧延品事業譲渡、環境対策費等
特別損益 計	△97	△584	△487	

連結財政状態



連結貸借対照表

(億円)

資産	2020年 12月末	2021年 9月末	増減	負債・純資産	2020年 12月末	2021年 9月末	増減
現預金	1,990	2,473	483	営業債務	1,644	1,824	180
営業債権	2,716	2,820	103	有利子負債	10,601	9,693	△ 909
たな卸資産	1,902	2,212	310	その他	2,610	2,680	70
その他	618	578	△ 40	負債計	14,855	14,197	△ 659
流動資産計	7,226	8,083	856	株主資本計	3,727	4,293	567
有形固定資産計	7,271	6,916	△ 356	(内、利益剰余金)	1,656	1,451	△ 205
のれん	3,592	3,232	△ 360	その他の包括利益累計額計	333	630	297
その他無形固定資産	2,392	2,223	△ 169	(内、その他有証評価差額金)	37	76	39
無形固定資産計	5,984	5,456	△ 529	(内、為替換算調整勘定)	△ 5	238	243
投資その他の資産計	1,554	1,669	115	非支配株主持分	3,121	3,003	△ 118
固定資産計	14,810	14,040	△ 769	純資産計	7,181	7,926	746
資産合計	22,036	22,123	87	負債・純資産合計	22,036	22,123	87

主要指標

ネットD/ELシオ(倍)	1.84	1.36	△0.47p	自己資本比率 (%)	18.4	22.3	3.8p
--------------	------	------	--------	------------	------	------	------

ネットD/ELシオ： { (借入金 + コマーシャルペーパー + 社債 + リース債務) - 現金及び預金 + 優先株 × 50% } / (自己資本 + 優先株 × 50%)
 (優先株の50%の資本性については、2020年4月21日付(株)日本格付研究所の格付に基づいています。)

自己資本比率： (純資産計 - 非支配株主持分) / 負債純資産合計) × 100

(ご参考) 連結業績の概要 (前年同期対比)

(億円)

	2020年 1-9月※1	2021年 1-9月	増減	2021年 通期予想※2
売上高	6,360	10,517	4,157	14,000
営業利益	△ 274	719	993	850
営業外損益※3	△ 219	14	233	△30
経常利益	△ 493	733	1,226	820
特別損益※3	△ 97	△ 584	△ 487	△765
税金等調整前四半期純利益	△ 589	149	739	55
法人税等	△ 3	△ 141	△ 138	△155
四半期純利益	△ 592	8	600	△100
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 71	△ 111	△ 41	△150
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 663	△ 103	560	△250
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	195	1,592	1,397	2,025
対売上EBITDA%	3.1%	15.1%	12.1p	14.5%

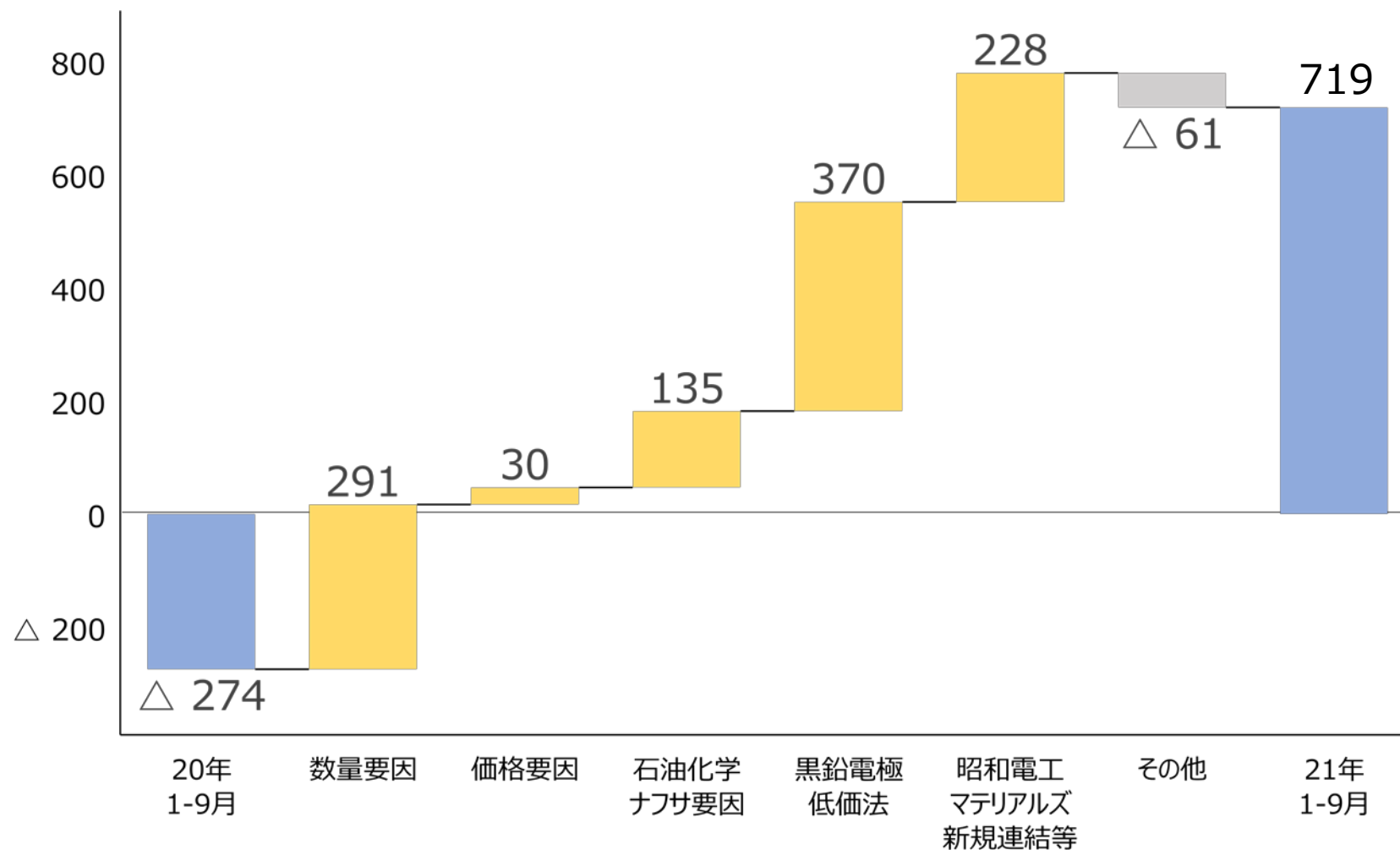
※1 昭和電工マテリアルズは2020年7月から昭和電工連結取り込み。また、前期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当第3四半期との比較・分析にあたり暫定的な会計処理の確定の内容を反映した値を用いている。 ※2 8/3公表 ※3 営業外損益、特別損益の内訳はP8に掲載

(ご参考)

連結営業利益差異内訳 (前年同期対比)



(億円)



(ご参考)

セグメント別売上高・営業利益まとめ（前年同期対比）



(億円)

		2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減	増減率	2021年 通期予想※1
石油化学	売上高	1,425	2,017	591	42%	2,650
	営業利益	13	172	159	1,238%	170
化学品	売上高	1,130	1,356	225	20%	1,800
	営業利益	93	164	71	76%	195
エレクトロニクス	売上高	687	833	145	21%	1,150
	営業利益	48	95	47	98%	155
無機	売上高	613	722	109	18%	1,000
	営業利益	△ 262	119	381	-	120
アルミニウム	売上高	584	617	32	6%	750
	営業利益	△ 3	65	67	-	75
昭和電工 マテリアルズ※2	売上高	1,448	4,816	3,367	233%	6,500
	営業利益	△ 92	186	277	-	265
その他	売上高	800	389	△ 412	△ 52%	400
	営業利益	6	1	△ 6	△ 92%	2
調整額	売上高	△ 329	△ 231	98	-	△ 250
	営業利益	△ 77	△ 81	△ 4	-	△ 132
合計	売上高	6,360	10,517	4,157	65%	14,000
	営業利益	△ 274	719	993	-	850

※1 8/3公表

※2 2020年7月から昭和電工連結取り込み。当セグメントは前期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当第3四半期との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定の内容を反映した値を用いている。

(ご参考)

セグメント別売上高・営業利益(1) (前年同期対比)



石油化学

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	1,425	2,017	591
営業利益	13	172	159

オレフィン：増収・大幅増益（COVID-19からの需要回復、原料ナフサ価格上昇に伴う製品市況上昇）
有機：増収・増益（酢ビ・酢エチ：今期定修なく数量増、原料・製品市況上昇）
サンアロマー：増収・減益（原料ナフサ価格上昇によるタイムラグ影響）

化学品

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	1,130	1,356	225
営業利益	93	164	71

基礎化学品：増収、増益（アンモニア、クロロプレンゴム：数量増、AN：数量増、市況大幅上昇）
情報電子化学品：増収・増益（半導体需要旺盛で数量増）
産業ガス：増収・増益
機能性化学品：増収・増益（国内・輸出数量増）
コーティング材料：増収・増益（巣ごもり需要堅調で数量増）

(ご参考)

セグメント別売上高・営業利益(2) (前年同期対比)



エレクトロニクス

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	687	833	145
営業利益	48	95	47

HD:増収・増益 (データセンター・PC向け需要堅調で数量増)

化合物半導体:増収・増益 (需要回復し輸出数量増)

リチウムイオン電池材料:増収・増益 (需要回復しSPALF®数量増)

SiCエピタキシャルウェハー:増収・増益 (需要拡大、パワー半導体デバイスメーカー複数社との長期供給契約開始により数量増)

無機

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	613	722	109
営業利益	△ 262	119	381

セラミックス:増収・増益 (需要回復し鉄鋼・自動車向け研削材、電子材料向けファインセラミックス数量増)

黒鉛電極:増収 (需要回復、数量大幅増)、大幅増益 (主に20年棚卸資産簿価切下げ戻り益)

(ご参考)

セグメント別売上高・営業利益(3) (前年同期対比)



アルミニウム

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	584	617	32
営業利益	△ 3	65	67
機能部材：増収・増益（自動車、OA、FA向け数量増）			
圧延品：売上高前年同期並み・増益（2021年第3四半期期中まで取り込み、コンデンサー用高純度箔：数量増）			
アルミ缶：2021年第2四半期まで取り込み			

その他

(億円)

	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
売上高	800	389	△ 412
営業利益	6	1	△ 6
2021年第1四半期末まで昭光通商の売上高および損益を取り込み			

昭和電工マテリアルズ

(億円)

	2020年 1-9月※1	2021年 1-9月	増減
売上高	1,448	4,816	3,367
	4,231※2		585
営業利益	△ 92	186	277
営業利益※3	182	440	258
旺盛な半導体需要を背景に情報通信は堅調に推移、モビリティ部材は、半導体供給不足の影響が見られるものの、自動車生産台数が増加していることで回復感が見られ、セグメント全体では原材料価格高騰の影響を受けながらも一定の利益を確保			

- ※1 2020年7月から昭和電工連結取り込み。
なお、当セグメントは前期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当第3四半期との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定の内容を反映した値を用いている。
- ※2 参考値：2020年1-9月の昭和電工マテリアルズの売上高
- ※3 参考値：
2020年：P7の昭和電工マテリアルズセグメントのグラフ・注記参照
2021年：1-9月の昭和電工マテリアルズセグメントの営業利益から連結化に伴うのれん等償却費を除いた額

(ご参考) 連結対象会社、主要諸元



連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社： 144社 (△7社)

△11社：昭光通商株式譲渡、アルミ事業売却関連 (8社)、蓄電デバイス・システム関連会社清算(3社)
 +4社：プリント配線板、蓄電デバイス・システム事業譲渡関連(3社)、
 Minaris Regenerative Medicine 新設

持分法適用会社： 13社 (±0社)

主要諸元

(期中平均)

	2020年		2021年	
	1-9月	7-9月	1-9月	7-9月
為替レート				
(円/US\$)	107.6	106.2	108.5	110.1
	2020年 9月期末レート：105.8 2020年12月期末レート：103.5		2021年 9月期末レート：111.9	
(円/€)	120.9	124.1	129.8	129.8
国産ナフサ (円/KL)	33,350	30,200	46,650	53,500

(ご参考)

セグメント別設備投資・減価償却費



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減	2020年 1-9月	2021年 1-9月	増減
石油化学	37	16	△21	31	31	△0
化学品	91	80	△11	71	74	3
エレクトロニクス	64	86	22	71	71	0
無機	59	57	△1	62	61	△2
アルミニウム	62	27	△35	33	24	△8
昭和電工 マテリアルズ※	125	254	129	105	331	226
その他	22	26	4	23	26	2
合計	460	546	85	396	618	222

※ 減価償却費はPPAの結果生じた無形固定資産の償却費除き

(ご参考)
昭和電工マテリアルズ統合関連費用

(億円)

項目		2021年		
		1-9月	7-9月	通期予想※2
買収後統合費用 (PMI費用※1)	(営業費用)	△50	△19	△92
株式取得にかかる借入金の利息等	(営業外費用)	△62	△20	△81
優先株配当	(非支配株主に 帰属する純利益)	△97	△33	△129
統合関連費用計		△209	△72	△302

※1 買収後の統合効果を最大化するための経営・業務等の統合プロセス関連費用

※2 2021年8月10日公表値

(ご参考)昭和電工マテリアルズのPPA※1の結果 生じたのれんおよび無形固定資産の償却額



(億円)

	2021年 償却額 期初予想	2021年通期 償却額 今回予想※2			2022年 償却額※2
		上期実績	下期予想	通期予想	通期予想
無形固定資産	161	81	78	158	154
のれん	183	91	85	176	167
小計 (営業費用)	344	172	163	334	321
投資その他の資産					
持分法投資 (投資有価証券) (営業外：持分法投資損益)	22	11	11	22	22
合計	366	183	174	357	344

※1 PPA: Purchase Price Allocation (取得原価の配分)

M&Aにおいて取得原価を買収した会社の資産や負債に配分する企業結合会計基準上の評価手続き

※2 2021年8月10日公表値。

21年2Qに蓄電デバイス・システム事業の譲渡に伴う事業構造改善の一環として、上記の無形固定資産およびのれんについて減損損失を計上したこと、およびプリント配線板事業の譲渡により、21年3Q以降の償却額が減額となっている

(ご参考) 社債の発行計画について

1. 目的：旧日立化成株式TOB時に調達したノンリコースローンの一部返済

2022年1月の実質統合で、統合までの財務リスク抑制というノンリコースローンの目的が達成されることから、現下の金融環境等を勘案した上で、一部返済する方針を決定

※本社債と蓄電デバイス・システム、プリント配線板事業の譲渡代金から、年内に一部返済を計画

2. 本社債の概要(詳細条件は検討中)

3年債/5年債/7年債/10年債で、最大1,000億円での発行を準備中

発行金額、利率等の条件は11月下旬に決定予定

ご参考；旧日立化成株式TOB時の調達資金返済状況('21/9末時点)

ローン種類	調達会社	調達総額	返済済み金額
シニアローン	昭和電工	2,950億円	885億円
ノンリコースローン	HCホールディングス	4,000億円	156億円

※シニアローンは昭和電工の事業から創出した収入や昭和電工の事業譲渡代金が返済原資

1. 目的

「エレクトロニクス」「モビリティ」「ライフサイエンス」領域への成長投資
前倒しのための資金調達

2. 財政状態へのインパクト

- ・手取概算額：823億83百万円^{※1}
- ・発行済み株式数：184,901,292株^{※1} (3,519万株増加)
- ・資本金および資本準備金増加額：831億65百万円^{※1}
(自己資本比率 + 3.0%^{※2})
- ・ネットD/Eレシオ (2021年12月末見通し)
8/10公表値：1.67倍 ⇒ 最新見通し：1.31倍^{※3}

※1 10月払い込みの第三者割当増資分含み

※2 21/9末時点の資本金・資本剰余金に、10月払い込みの第三者割当増資分を加えて算出

※3 8/10公表値をベースに、本調達金額を現金及び預金・株主資本に加えて算出した参考値

(ご参考) セグメント別トピックス

セグメント	トピックス
全社	2050年 カーボンニュートラルへの挑戦
	新株式発行および株式売出し
エレクトロニクス	パワー半導体向けSiCエピタキシャルウェハーの長期供給契約を締結
アルミニウム	電動車用アルミニウム製冷却器の生産ラインを増設
昭和電工 マテリアルズ	高い実装信頼性を実現するプリント配線板用高機能積層材料「MCL-E-795G」 量産開始
	蓄電デバイス・システム事業の譲渡について

*詳細は、決算短信・各ニュースリリースをご参照ください。

決算短信 : <https://www.sdk.co.jp/ir/library/results.html>

ニュースリリース : <https://www.sdk.co.jp/news.html>

<https://www.mc.showadenko.com/news/japanese>

注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、新型コロナウイルス感染症拡大が世界経済に与える影響、経済情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。